

2025年4月12日(土)

## 九十九里浜の風に誘われて

昨日11日(木)からオリエンテーション合宿として、41期生113名と教職員と一緒に、千葉県白子町に来ています。2日目の朝は、宿泊先であるホテル東天紅から10分ほど歩いて九十九里浜まで散歩して来ました。今朝の太陽は雲に隠れていましたが、雲の下から射す光が太平洋に注ぎ、キラキラと黄金色に輝いていました。生徒たちの多くは波打ち際まで歩みを進め、海の香りと潮風を感じていました。中には白い砂浜まで流れ着いたきれいな貝殻を手にとったり、コウボウムギやハマボウフウなどの海浜植物に興味を示す生徒もいました。

昨日は校長講話として、自分自身の学びを振り返りつつ学びの方法について語りましたが、その「予習編」として「九十九里浜がどのようにしてできたのか」について尋ね、その簡単な説明をしました。今朝の散歩を通して、「浜はどのようなもので構成されているのか?」「その色や大きさはどうか?」など、少しでも五感を通して感じられたら最高です。今年の講話では、『タコから学ぶ不思議の世界』を話題の中心でしたが、新入生にも「楽しいことに興味を持ち続け、自分で調べ、確かめ、何かを作り出すこと」につながる学びに挑戦してほしいと思います。また、講話の終わりに当たって、出発日の前日に手書きで記したメッセージカードを全員に配り、激励としました。

石飛 一吉



朝の白子海岸



コウボウムギ



メッセージカード

### 参考図書

浅沼 市男(2008)『環境情報論』共立出版, 153頁。